

クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレッツ！

オトナ帝国の逆襲

- ◆ 種別：DVD (アニメーション映画)
- ◆ 監督／脚本：原 恵一
- ◆ 原作：臼井 儀人
- ◆ 製作年：2001 年
- ◆ 製作国：日本
- ◆ 発売／販売元：バンダイビジュアル
- ◆ 時間：本編 86 分
- ◆ 音声：日本語
- ◆ 字幕：日本語



母と共に：苦勞の多い人生の中で育ててくれたことへの感謝をこめて (2014 年 4 月 10 日撮影)

あらすじ

春日部に“20 世紀博”が誕生して以来、大人たちは病的なまでに 20 世紀博が放つ懐かしい匂いに熱中してしまう。そしてある日、すべての大人たちは自分たちの子どもを捨てて、20 世紀博へ遊びに行ってしまう。残された子どもたちは大人たち(親)を取り戻すために、オトナ帝国と化した 20 世紀博へ向かい真相を突き止めようとする。

シーン再現

<未来を守ろうと奮闘し、倒れこむしんのすけに、

オトナ計画を阻止されたチャコが歩み寄る>

チャコ： どうして？ ねえ、どうして？ 現実の世界なんて醜いだけなのに…。

しんのすけ： オラ、父ちゃんと母ちゃんやひまわりやシロと、もっと一緒にいたいから…。喧嘩したり、頭にきたりしても一緒にいいから…。あと、オラ、大人になりたいから！

Chapter

1. 20 世紀博／3:57
2. オープニング／1:13
3. 怪獣 vs 万博防衛隊／3:04
4. ひろし SUN 登場／3:31
5. 魔法少女みさりん／4:13
6. イエスタディ・ワンスモア／3:36
7. 夕焼けの町／3:33
8. 父ちゃん母ちゃんが！／3:34
9. 大人がいなくなる？／2:57
10. コンビニ対決／4:40
11. スナックカスカビアン／2:19
12. 子供たちの不安な一夜／2:43
13. こども狩り／2:53
14. デパート逃走劇／3:18
15. ボーちゃんが…運転!?!／2:23
16. 幼稚園バス大暴走／4:13
17. 行け！ しんのすけ／3:15
18. 突入！ オトナ帝国／3:25
19. なつかしいニオイ／4:51
20. 同棲時代／2:26
21. 夕日町からの脱出／4:00
22. 目指せタワー／2:46
23. 鉄骨上空危機一髪／4:34
24. しんのすけ走る／3:39
25. 展望台／2:39
26. 野原一家再会／2:31
27. 帰宅～エンディング／3:58



家族が集う湖・オレゴン州
(2014年夏 筆者撮影)

本作では20世紀博から発せられる「懐かしい匂い」の虜になり、子どもに戻ったように遊びに熱中する大人たちの様子が描かれている。彼らは自分の子どもを放置するだけでなく、オトナ帝国のリーダーであるケンの命令に従い、子ども狩りをはじめ。一方、しんのすけら子どもグループはオトナ帝国に対抗し、しんのすけの両親であるひろしとみさえを匂いの呪縛から引き戻す。そして一家団結し、21世紀を取り戻すというストーリーだ。

呪縛を解く力をひろしに与えたのは、家族の存在であった。家族と共に紡いだ時間を「つまらん人生だったな」とケンに否定され、ひろしは次のように反論した。「オレの人生はつまらなくなんかない！ 家族のいる幸せを、あんたたちにもわけてやりたいくらいだぜ！」。家族の絆が、ひろしと野原一家に勇気を与えたのだ。

最終場面で、21世紀を取り戻そうと捨て身で闘うしんのすけが、オトナ帝国の計画者チャコに思いをぶつけるシーンがある。「シーン再現」のセリフから、彼が自分には家族の存在が必要だと考えていること、大人になることに希望を持っていることが読み取れる。そして、その家族は喧嘩をしても失われることのない強い絆で結ばれている。つまり、家族の絆を感じる教育環境のなかで、自分が大人へと成長していくことを求めているのである。しんのすけは、自らの成長する環境に欠かせない家族を取り戻すために、必死で闘い抜いたのだった。

状況は違えども、本作品のように、親の行動により子どもが危機的な状況に陥り、教育環境を奪われる場合がある。DVや児童虐待をはじめとして、子どもの危機的問題は後を絶たない。そして、実際に苦しんでいる子どもたちの多くは、自分の力だけではその状況から逃れることができないという現実もある。日々の苦しみのなかで、大人になることへの夢や希望を失う子どもたちもいるはずだ。

例えば、ネグレクトという形の虐待がある。2010年には、大阪で二児餓死事件が起きた。3歳の女兒と1歳の男児が変わり果てた姿で見つかり、内臓の一部は蒸発し、身体は腐敗、白骨化していたというケースである。親からの愛情、十分な育児を受けられず、この世を去っていく子どもが世界中に存在する。

子どもはどんな状況化においても、しんのすけのように家族の絆、そして成長するための教育環境を強く求めている。そういった子どもの所望を、わたしたちは忘れてはならない。

Information

「クレヨンしんちゃん」の映画シリーズは評価が高いものもある。以下で紹介する作品は高評価かつ、しんのすけの情緒的成長も垣間見える。【DVD】『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ アッパレ！ 戦国大合戦』発行・販売：バンダイビジュアル、2002年、本編95分。